

○司会（武市財務局長） それでは、本日午後の団体ヒアリング、意見交換会を始めさせていただきます。

築地市場協会の皆様でございます。

（築地市場協会 入室）

（要望書手交）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。どうぞ御着席をお願いいたします。

それでは、これより築地市場協会の皆様とのヒアリング及び意見交換会を始めさせていただきます。

まず冒頭、知事からお願いをいたします。

○小池知事 改めまして、きょうはわざわざ新宿都庁まで御足労をおかけいたしました。まずもって恐縮をすると同時に、この間、皆様方にはさまざまな御不安、御苦労をおかけしていること、改めておわびを申し上げたいと存じます。

これは、この豊洲市場の移転の延期ということから、ちょうどこれからまさしく年末で一番お忙しい時期かと存じますけれども、既に11月7日をベースに考えて御用意いただいていたのが、結局今の築地で年を越すことになってしまったわけでございます。その結果として、さまざまな課題も出て、そしてまた、年末のさまざまな物入りということでございましょう。皆様方には、多大な御迷惑をおかけしているということについて、改めておわびを申し上げたく存じます。

これまでの移転を想定して準備されてきた皆様方には、影響が非常に大きいということで、その対応は極めて重要だと考えております。皆様の忌憚のない御意見、きょうは15分という限られた時間ではございますが、これまでも市場担当者が何度か皆様方から直接お話も伺っていることは、私のところにもしっかり届いております。大変短い時間でまことに恐縮でございますけれども、本日は、これも公開で行われるわけでございますが、皆様方の忌憚のない御意見、そして、御要望を直接伺わせたいと思います。それによって客観的で公平な補償スキーム、これを策定するなど、速やかに補償、そして、必要な支援など、必要な対策をとらせていただきたいと、このように考えております。

築地市場協会の皆様方の御理解、御協力をいただきながら、これからも安心・安全な市場の実現に向けまして、しっかりと取り組んでまいりたいと存じます。

本当に限られた時間でまことに恐縮でございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

それでは、早速でございますけれども、御説明等をお願いできますでしょうか。どうぞ御着座のままで結構でございます。よろしくお願いいたします。

○築地市場協会 最初にお断りしておきたいのですが、今回の知事のヒアリングと申しますか、その対象団体で伺っておりましたのが、1億円以上補助等の予算を計上している

団体ということでございますけれども、私どもはそれではございませんので、そこはあらかじめお断り申し上げます。

○小池知事 一応の基準は設けておりますが、しかしながら、皆さんの場合は、喫緊の課題を抱えておられるということから、あえてお話を伺いたいということでございます。

○築地市場協会 恐れ入ります。

今、文書でお持ちしたのですが、ほぼこれに沿ってお話し申し上げたいと思います。

まず、知事におかれましては、御就任以来、さまざまな都政の課題に積極果敢に取り組んでおられることに敬意を表します。

さて、知事が去る8月31日に築地市場の豊洲移転の延期を決定されて以来、築地市場業界は混乱と不安の真ただ中にございます。石原、猪瀬、舛添と、3代続いた知事の皆様が、こぞって築地の豊洲移転を指示されてまいりました。我々業界はそれに従い、それを信じて、豊洲への移転・営業に向け、多大な投資をしてまいりました。その投資が宙に浮いてしまう。しかも、その調達に対する返済が迫る。さらに、築地での営業継続を余儀なくされ、築地と豊洲の二重投資という、私ども事業を営む者にとっては極めて許容しがたい事態が生じております。

こうした中で、移転がいつになるのか、まだ、その目途さえ示されておられません。知事は先日、移転へのロードマップを示されましたが、あの中に、市場業者の意見や気持ちは一体どの程度酌まれているのでしょうか。私どもには、巷間必要と言われているプロセスをただ時系列で並べただけにしか見えません。御案内のとおり、築地市場業者の多くは、通常においても赤字にあえぐ弱小業者であります。こうした事態の中で、倒産の危機に瀕している者も少なくありません。知事の責任とリーダーシップのもとで、豊洲移転問題の一日も早い解決を切に要望してやみません。この問題に関し、知事にお願いしたいことは多々ございますけれども、上記のような実情を踏まえて、本日は特に以下の4点について、強く要望を申し上げます。

1 番、知事に築地市場にぜひお越しいただき、業界の声を直接お聞きいただきたいこと。

去る11月1日の市場当局主催の説明会に、知事の御出席をお願いいたしましたが、お聞き入れいただけませんでした。知事の一方的決定で移転を延期した以上、御自身で、直接その対象者である市場業者に御説明されるのが筋ではないでしょうか。知事との信頼関係の構築こそが、問題解決への重要な第一歩ではないでしょうか。

2 番、可能な限り早期に移転の可否・時期の目途を御提示いただきたいこと。

上記のような実情にある築地市場業界にとって、移転の可否、移転の時期の早期決定は、不安を取り除く重要な要素であります。市場問題PTの検討事項の全てが移転の判断に必要な要素なのではないでしょうか。少なくとも土壤汚染に関する安全性が確認されれば、移転の可否、移転の時期の判断はつくのではないのでしょうか。一日も早い判断をお願い申し上げます。

3 番、市場業界との十分な話し合いの元に、早期に市場業者への適切な補償をお願いしたいこと。

知事が、市場業者への補償の必要性をつとに表明され、取り組まれていることには感謝申し上げます。先ほどもそのお話がございました。しかしながら、上記のような実情にある業者にとっては、その動きは緩慢であり、焦慮に耐えません。さらに、補償のフレームづくりに市場業界の声が果たしてどの程度反映されるのか、私どもとしては、この点を非常に危惧しております。市場業界との十分な話し合いのもとに、早期に市場業者への補償に取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

4番、都の責任において風評被害の予防と払拭をお願いしたいこと。

豊洲への移転を延期して以来、都民の間にはさまざまな風評が広がっております。いわく「豊洲で売られる魚や野菜は汚染されていて食べられない」、またいわく「豊洲では汚染された海水で魚を洗っている」。こうした風評は、突如として移転が延期されたことによるさまざまな憶測に端を発しますが、次なる移転の決定が遅れば遅れるほど拡大し、風評が風評を生む事態が生じてまいります。このような風評は、たとえ豊洲に移転したとしても、豊洲での営業に大きな支障となりかねません。一方的に延期を決定された知事及び東京都の責任において、ぜひこうした風評の発生・拡大を予防し、払拭を図っていただきたいと思います。

なお、ほかに御要望申し上げたいことについては、他日、市場長などに申し上げますので、お聞き取りいただきますよう、お願い申し上げます。

以上が、本日の私どもの要望でございます。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

たくさんおありかとは存じますが、本日は4点に絞ってお話をいただきました。

まず、知事のほうから御回答させていただきます。

○小池知事 これ以上にたくさんの御要望があるかと存じます。そして、また、業者の方、企業によって、置かれた立場はさまざま異なると思います。そのためにも、きめの細かいヒアリングをしっかりと行わせていただくということで、補償スキームを検討するためのヒアリングはとりあえずは終えたとは聞いておりますけれども、まず、築地市場に私自身が来て直接話を聞きたいというお話、もっともだと思います。また、私もその機会をどの段階が一番よろしいのか、時間帯もどのような時間が一番適切なのか、それなどについては、今後皆様方と、いつ、どの段階でということを決めていきたいと思っております。

それから、先日、ロードマップを示させていただきました。これは、まさしくあくまでも行政手続的にどうなるのかということを示させていただきました。行政手続は重要なものでございまして、だからこそ、まず1月にはモニタリングの結果が出ますし、ちょうどその後1月中には補償スキームも決定することとなりましょう。そしてまた、2月には補償費用がどのくらいかかるのか、それをまとめた予算案を発表させていただくことと、このように思っております。

今、伊藤会長がおっしゃいましたように、非常に不安で先行きが見えないということが一番の問題だと思っておりますので、その意味では、こういった行政手続の手順を踏まえ

ながら、一体どのような形で最も皆様方の御希望にかなう対応ができるのか、それを探ってまいりたいと思います。

それから、可能な限り早期に移転の可否、そして、その目途を御提示をという話で、今の話と重なりますけれども、今、専門家会議やプロジェクトチームが安全性の確認などを行っているのは御承知のとおりでございます。しっかりとそれらの結果を踏まえまして、総合的に判断をさせていただきたい。そして、皆様方のお気持ちは一体いつなのだと、この一点になろうかと思っておりますので、それもしっかり受けとめながら、判断をしたいと思っております。

それから、皆様方からすれば一つ一つの動きが緩慢だとお感じになると思います。立場を逆にすれば、そう思われるのは仕方がないと私どもも思うわけでございます。業界団体、それから、個々の事業者へのヒアリング、とりあえずは終えておりますが、精力的に補償スキームの検討を行うように現場に指示をしているところでございます。

それから、当事者でいらっしゃる皆様方ともお話をさせていただきながら、1月を目途に先ほども申し上げましたようにスキームの構築、そして、その後の実施とさせていただきたいと思います。

一番最後に風評被害の話がございました。不正確な情報をベースにしながら、どんどんどんどん、1キログラムと1トンでは違いがわかるのですけれども、違う単位のもので、みんなどこまでが安全でどれが危険なのかということがごっちゃになってしまうという問題が基本的にございます。そのある種のリスクコミュニケーションと言いますけれども、これをどのようにわかりやすく、どういうレベルなのかということで、しっかり私どもも風評被害を防ぐ。今、基本的に築地と豊洲と、両方の風評被害になるのが一番困るわけございまして、そうすると、両方を潰してしまう話になってしまう。そのことについて、私も大変胸を痛めているところでございます。正しい発信、そして、またわかりやすい発信を続けていくということが、両方の市場にとって必要なことではないだろうか。このように思っております。

今回のこの築地市場の豊洲移転につきましては、本当に多くの問題を抱えておりますが、まず、私は基本的に食の安心・安全、これが一番大きなところだと思っております。

○築地市場協会 我々もそう思っております。

○小池知事 そのことをぜひ証明できるように、これらの行政手続を踏まえながら総合的に判断していきたいと思っております。ありがとうございます。

○築地市場協会 いずれにしても、一度ぜひ早く築地に来てください。築地の現状をごらんになってください。一度お見えになったけれども、あのときは人がいないときです。実際に取引をやっている場面、そういう場面を見て、どういう状態の中で市場というものが今、行われているのか。日々、消費者の方にきちきちとした安心・安全なものをお届けするというのが我々の役割ですので、それは必死にやっておりますが、それをごらんになっていただきたい。それから、我々みんなに語りかけていただきたい。知事と我々の間

ですき間があってはいけません。もっと一体になってこうしようということを、みんなが必死になって決断していく。そういうことが、私は一番大事だと思っております。

○小池知事 ありがとうございます。時期につきましては、御相談をさせていただきます。そして、ぜひ伺いたいと私自身は思っておりますので、そのあたりは御相談させていただきたいと、このように思っております。

○築地市場協会 あと、大事なのは、知事御自身が判断なさる時期を、さっき行政手続とおっしゃっていましたが、それはそれ、しかし、知事自身の御意思、それを早く表明していただきたい。私たちはそれがあれば、いろいろな計画なり、相談なりが進められるのです。今、何もできないです。宙ぶらりんなのです。ですから、早く知事のお考えをお聞かせいただきたい。それが今、一番私どもが希望することです。

○小池知事 お気持ちはよくわかります。一方で、行政手続ということについては、むしろここをきっちりやるからこそ、その後がよく発展させるものだと、移転についての問題でございますけれども、クリアになってくるのではないかと、このように思っております。

また、皆さんからのお話はしっかり事務方からはよく伺っております。また、きょうはそれぞれの業界、築地で働いている皆様方にこうやっておそろいいただいて、代表の方々と直接伺う、本当に15分間でまことに申しわけございませんけれども、また今後ともよろしく願い申し上げます。ありがとうございます。

○築地市場協会 ありがとうございます。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

（築地市場協会 退室）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

続きまして、東京都管工事工業協同組合の皆様でございます。

（東京都管工事工業協同組合 入室）

（要望書手交）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。どうぞ御着席をお願いいたします。

それでは、これより東京都管工事工業協同組合の皆様とのヒアリング、意見交換会を始めさせていただきます。

冒頭、知事からお願いいたします。

○小池知事 小池でございます。

本日は、佐藤理事長を初めとする管工事工業協同組合の皆様方、都庁にお越しいただきました。まことにありがとうございます。また、15分間で恐縮ではございますけれども、予算の御要望、そして、またせつかくの機会でございますので、現場のお話など、忌憚のない御意見を伺えればと思っております。

まさしく、24時間365日体制で御対応いただいているわけでございますし、また、ことしの夏は、一時は水がなくなるのではないかとといった瞬間もございました。さらには、福岡

の例をとってあれですけれども、いかに地下のパイプがどうなっているのかということ、切断面を見るような思いがいたしましたし、いかに皆様方が私たちの生活、都民の生活を支えてくださっているかよくわかった出来事ではなかったかと思います。

限られた時間ではございますが、どうぞ忌憚のない御意見、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○司会（武市財務局長） ありがとうございます。

それでは、早速でございますが、御説明のほうをお願いできますでしょうか。

○東京都管工事工業協同組合 東京都管工事工業協同組合理事長の佐藤でございます。

本日は、我々の要望について聴取していただく場を設けていただき、感謝しております。

当組合は、都内の指定給水装置事業者と指定排水設備工事事業者の集まりで、組合員の多くは東京都水道局、下水道局などの事業に携わっております。東京都の平成29年度予算にかかわる要望書を提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

以後の予算要望の説明につきましては、専務理事の宮城からさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○東京都管工事工業協同組合 専務理事の宮城でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、私どもの団体の概要につきまして、御説明を申し上げます。

私どもの組合は昭和24年に発足した団体でございます。28年の11月末現在、1,109社が加盟いたしてございます。東京都におきましても、多くの事業者が水道局の工事請負単価契約等の事業に携わっておりまして、管路の維持、管理におきまして24時間365日対応できる体制を整え、日々取り組んでいるところでございます。

また、さきの熊本地震の際にも水道局と締結いたしました災害協定に基づきまして、速やかに体制を整え、水道局工事請負単価契約の事業者を中心に現地に向かい、漏水修繕に協力をさせていただきました。

こうしたことから、当組合は、東京都水道局、下水道局において不可欠な存在であると自負をいたしてございます。

それから、予算要望の内容でございますが、要望書には3点挙げましたが、次の2点につきまして、特に要望させていただきたいと思っております。

1つ目は、組合員の多くが契約している水道局工事請負単価契約における事業費の確保と単価設定についての要望でございます。

本契約で実施する私道内給水管整備工事は、東日本大震災で最も漏水事故が多かったのが給水管であったことから、その耐震化を図るために実施をしております。水道業者にとりましても極めて重要な事業であると認識をしております。

このため、水道事業のセーフティーネット機能維持のためにも、計画的な事業量の確保と契約業者数の維持・拡充、体制維持が可能な単価設定を強く要望させていただきます。

2つ目は、東京都の業務推進に係る組合組織の活用についての要望でございます。

東京都は、業務効率化と民間活用を進める中、東京都下水道局におきましても、職員の高齢化と定年退職者の増加から、業務執行体制の確保などが課題になっていると承っております。

つきましては、災害時における排水設備の復旧や排水なんでも相談所に対する協力体制を整え、官公需適格組合でもある当組合をこれらの課題解決ために活用していただくことを要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

本日、2点に絞っての御要望ということで、承らせていただきました。

まず初めに知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 ありがとうございます。

今、熊本地震の際の御協力をいただきましたこと、改めて御礼を申し上げたく存じます。そして、また、いつ、この東京で起こるかわからない、起こるのであると最初から考えておいたほうがいいかもしれない。それが危機管理の要点かと存じますけれども、首都直下地震の被害想定では、一部の地域で断水率が6割を超えるということが想定されております。その結果として、震災対策を進めていくことというのは、本当に何をおいても一番重要なことだと、このように思っております。

私は災害時の液体ミルクを日本でつukれないかということを申し上げているのも、結局断水になりますと、お水もお湯も使えない、電気もガスもないということになりますと、粉ミルクの国なので、子供さんに、乳幼児に、ミルクを与えられないのです。そういうことも考えると、まさに命の水ということかと思えます。

計画的な事業の推進、契約の単価の設定などについては、担当の水道局からしっかりと内容を聞きまして、検討を行わせていただきたいと存じます。

それから、こちらは下水道のほうでございますけれども、皆さんの果たしてこられた役割は、大変高うございますし、まさしく都民のある意味一番重要なところも担っていただいているわけございまして、協力体制を維持してまいりたいと思っております。こちらのほう、下水道局のほうからよく話を聞きまして、対応させていただきたいと考えております。

いずれにせよ、ライフラインの一番肝心なのは水であり、そしてそのために必要な工事等々、これからは、維持すること、メンテナンスが一番重要な課題になってまいりますし、私、無電柱化をずっと進めておりましたので、一回掘ったときに、いろいろな管が通っていると前もってわかるものとわからないものがある等々、これらは技術革新によって一回掘ったときに、一度に作業ができないものなのかどうかとか、いろいろと総合的に計画する。それによって、この公共の調達、公共工事をより効率的に行うことによって、都民の皆さんのお金も、そして、都民の皆さんの安心も守れると、そういった形で進めていきたいと思っておりますので、これからもよろしく連携のほう、お願いさせていただきたいと

存じます。よろしくお願いいたします。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

もう少しお時間がございます。この際でございますが、何かいろいろ御意見等、何でも結構でございます。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、以上をもちまして、東京都管工事工業協同組合の皆様とのヒアリング、意見交換会を終了とさせていただきます。

本日は、どうも遠いところ、ありがとうございました。

○東京都管工事工業協同組合 ありがとうございました。

（東京都管工事工業協同組合 退室）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

続きまして、三多摩管工事協同組合の皆様でございます。どうぞ御入場をお願いいたします。

（三多摩管工事協同組合 入室）

○司会（武市財務局長） それでは、要望書のほうをお願いいたします。

（要望書手交）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。どうぞ御着席をお願いいたします。

それでは、これから三多摩管工事協同組合の皆様とのヒアリング、意見交換会を始めさせていただきます。

冒頭、知事からお願いいたします。

○小池知事 松田理事長を初めとする皆様方、多摩地域から、御遠方からお越しいただきまして、まことにありがとうございます。にもかかわらず、たった15分のヒアリングということで、まことに恐縮でございますが、予算の御要望を直接お伺いする、そして、また都民の生活に一番密着している部分を担っていただいていることもございまして、現場の声を直接伺わせていただきたいということで、きょうはインターネットでも公開中継をさせていただきます。

東京の水道技術というのは、世界でもトップレベルでございます。漏水の防止技術は世界へと輸出できる、それぐらいの大変高度な技術を日本は有している。一方で「多摩格差」という言葉もございますけれども、皆様方には首都の都市活動を支える最も重要なライフラインとして、これからも耐震化の問題等も含めまして、直接の御要望を伺おうと、このように思っております。

短時間ではございますが、どうぞ忌憚のない御意見、よろしくお願いいたします。

○司会（武市財務局長） ありがとうございました。

それでは、御要望のほうを承らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○三多摩管工事協同組合 三管協の理事長の松田でございます。

本日は我々の要望について聴取していただく場を設けていただき、まことにありがとうございました。

当組合は多摩地区の管工事業を行う小規模事業者を中心に組織しており、組合員の多くは東京都水道局などの事業に携わっております。

東京都の平成29年度予算にかかわる要望書を御提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

今、申しましたとおり、当組合は、多摩地区の水道管工事業を行う小規模の事業者を中心に組織し、昭和38年に発足した団体でございます。その多摩地区の各市町にある協同組合の連合会的な性格を持っております。平成28年12月現在、407社が加盟しております。東京都においても、水道局などの事業に携わっており、水道の管路の維持、管理において、24時間365日対応できる体制を整え、日々、業務に取り組んでおります。

また、さきの熊本地震の際にも、地震発生直後に受けた水道局からの復旧支援の要望に基づき、速やかに体制を整え、水道局請負単価契約の約事業者を中心に現地に向かい、水道管の管路の漏水修理に協力させていただきました。こうしたことから、当組合は東京都水道局において、不可欠な存在であると自負しております。

多摩地区の水道は、当初市町が運営し、現在は都営水道となっておりますが、区部と比べ配水管網の整備も道半ばの状態であり、依然、多摩格差が存在している状況でございます。そのため、多摩地区の水道が真の広域水道となるためには、管路の耐震化もにらんだ管路の取替えや新たな布設を今後も推進していく必要があります。

当組合は、こうした水道事業の最前線を担い、日夜を問わず、日々努力を重ねているところでございます。

次に、具体的な要望内容について御説明いたします。

まず1点目は、水道局工事請負単価契約における事業費確保及び単価設定についてでございます。

この要望につきましては、先ほど東京都管工事工業協同組合からもあったと思いますが、多摩地区においても同じ内容の要望となりますので、詳細は省略させていただきますが、当組合は、水道工事を専門としている事業者が多く、私道内給水管整備工事における計画的な事業の確保と契約業者数の維持・拡充、体制維持が可能な単価設定を要望させていただきます。

次に2点目は、多摩特有の課題を挙げさせていただきます。それは、塩化ビニール製水道管の耐震化についてでございます。

多摩地区においては、各市町が水道事業を行っていた時代に埋設した塩化ビニール製の水道管が多数存在しております。これらはかつての市町時代の昭和40年代から50年代に布設された塩化ビニール製の管路で、地域的には奥多摩、あきる野市、調布市などに数多く残っており、多摩地区全体で塩化ビニール製の水道管の残存延長は約30キロメートルに及んでおります。

現在、水道局では切迫性が指摘されております首都直下地震や多摩直下地震などの大規模地震に備えて、水道管路の耐震継手化事業を進めております。塩化ビニール製の水道管が地震に弱いことは実証されており、ダクタイル鋳鉄管といった耐震性の高い管に取り替えることが喫緊の課題となります。

そのため、塩化ビニール製の水道管を耐水性の高い水道管に取りかえる事業を実施していただくことを御要望させていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

2点にわたる御要望ということで承らせていただきました。

それでは、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 ありがとうございます。

熊本地震の際にも、皆様に御協力いただいて、そして、早期の復旧につながったものと、このように聞いております。改めまして、御協力に感謝申し上げます。

とはいえ、この首都圏の直下型地震は、30年間で約7割の確率でということは、もう起こるものだという認識で進めていかなければならない。危機管理の観点からはそういう発想が必要だと思っております。

最初の御要望とございました水道局の工事の請負単価契約でございますけれども、これにつきましては、御要望もいただいております、地震などの災害で断水が発生した場合のことを考えますと、耐震化を進めることは極めて命の水につながるということでございますので、しっかりと対応させていただきます。

それから、計画的にこの事業を推進してまいらなければなりません。そして、契約の単価の設定などについては、担当の水道局からしっかり内容を聞きまして、そして、検討していきたいと考えております。

2点目の、これも時代によって技術が変わっていくというあらわれの一つかと思いますが、塩化ビニール製の水道管の耐震化で、これをより耐震性の高い管に取り替えるというお話でございます。各局へ御要望いただいている額も相当になるのですが、配水管の耐震化を進めるということは、都政の中でも喫緊の課題だと考えております。ダクタイルへ取替えをするということを目標として、平成37年度、ということは9年後までに耐震化率、特に継手、ここを6割にするという目標を設定いたしまして、そこに向かってしっかりと対応していきたいと、このように思っております。

私も阪神大震災のど真ん中におりましたもので、いかにこの断水が厳しいものなのか、そして、その多くが継手の問題があったということについては、承知をしているところでございます。

それから、これからはメンテナンス、維持ということ、国でも東京都でも大きなテーマにしているわけでございまして、その際に、一般都民からすれば、また道路を掘り返しているというのは、すごく気になるところでございまして、今回、国会で私の置き土産で

もあります無電柱化の促進法が通りました。これによって国道、都道、区市町村道、それぞれの無電柱化をもっと価格も安くする。そのために技術革新もする。それによってコストを安くする。それによって、例えばこれまでは電力線と通信線を離さなければいけないということが、そんなに離す必要はないとか、いろいろな技術的な実験なども行っております。今回、福岡の一瞬にして元に戻したというのは、あれは世界的にも評価されているわけですが、あるときは、地下に埋めるものについて、維持管理というのは、都民目線として、ぜひ一度にやってほしい。関係する業界は全部別なのはわかりますけれども、ここをよく連携をとっていただければと思っているのです。それによって耐震化、それから、無電柱化によって防災です。倒れることによって消防車が通れなくなるといったような問題、こういったことを合理的にも進めてまいりたいと思っておりますので、ぜひ皆様方の連携、都の連携の期待をいたしております。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

まだお時間も少々ございます。何か補足的に、あるいは追加的に何でも結構でございますが、せっかくの機会でございますから。

どうぞ。

○三多摩管工事協同組合 東京都がやっておりますあんしん診断の多摩の特命部長をやっております小野と申します。よろしくお願いいたします。

今、あんしん診断、東京都の水道局でやっておるのですが、今、私どもで約400社いるのですが、その中で、130社が今年度事業をしております。その中で、大体人数として、400名ぐらいが、今、参加してやっております。本年度、49万所帯やる予定になっておるのですが、現在私たちが目標としていました49万所帯を、本年度の2月に完了ということになって、1カ月ちょっと前倒しになったのですが、これも局と、それから私たち水道事業者との連帯のおかげだったのではないかと考えております。ただ、今後の運営に当たりましては、局のほうにもいろいろお願いしておりますので、また、再度その辺のことを聞いていただくとありがたいと思っております。

○司会（武市財務局長） ありがとうございます。

本日は水道局長も出席しておりますので、水道局長、一言コメントをいただけますでしょうか。

○醍醐水道局長 水道局長でございます。

御案内のとおり、あんしん診断でございますが、これは昨年度から実施をしております、足かけ5年をかけて、東京都内の全件数、750万件ほどのお客さまの方々にニーズの把握、それから、サービス向上のためにアンケートですとかモニターの調査等々をやっておりますところでございます。

実施に当たりましては、今、お話のありました三多摩管工事協同組合、それから、先ほど御要望をいただきました東京都管工事工業協同組合、2つの組合に多大なる御協力をいただいております。何せ長丁場になる、5年にわたる調査ということにな

ってまいりますので、お客さまの声を正確に反映するためにも各団体からの御要望を十分踏まえながら、対応してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（武市財務局長） ありがとうございます。

それでは、よろしゅうございましょうか。

では、以上をもちまして、終了とさせていただきます。本日はどうも遠いところをありがとうございました。

○三多摩管工事協同組合 ありがとうございます。

（三多摩管工事協同組合 退室）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございます。

続きまして、本日の最後となります、東京都漁業協同組合連合会の皆様方でございます。どうぞ御入場をお願いいたします。

（東京都漁業協同組合連合会 入室）

（要望書手交）

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございます。どうぞ御着席をお願いいたします。

それでは、これより東京都漁業協同組合連合会の皆様とのヒアリング、意見交換会を始めさせていただきます。

それでは、冒頭、知事からお願いをいたします。

○小池知事 小池でございます。

本日は、お忙しいところ、関代表理事会長を初めとする東京都漁業協同組合連合会の皆様方に都庁までわざわざお越しいただきました。皆様方から直接お話、御要望を聞き、特に予算の時期でございますので、皆さんの忌憚のない御意見も伺いつつ、予算へ反映させていこうという、このような考え方でございます。

先日も私、小笠原に参りました。一時期、あそこはサンゴの問題がございました。そして、また八丈島等々、本当にすばらしい海の幸が大きく広がっているところでございます。都民にとっても、安全・安心な魚介類、これは大変待ち望んでいるわけでございます。お魚の種類を挙げれば切りがないのですけれども、キンメダイとか、おいしいですね。大好きでございますが、漁獲量は数字では年間3,000トン、30億円に上ります。そして、新鮮でバラエティーに富みました東京の魚介ということは、まさしく地産でございます。そういった意味で、非常に皆様方とはある意味、とても日常的な存在ではないかと思えます。おすしも代表的な世界の食品になっておりますので、海外からいらしたインバウンドのお客様、東京でとれた魚、そのおすしというのは、これだけでブランドではないかと、このように思います。

とはいえ、担い手不足であるとか、これからの皆様方を取り巻く環境、今は燃油価格が以前より抑えられているものの、これからの世界情勢によってどうなるのかも、これも不透明なところでございます。

ぜひ、限られた時間ではございますが、忌憚のないお話を直接伺わせていただきますので、よろしく願いいたします。きょうはありがとうございます。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

それでは、早速でございますが、御要望をお願いできますでしょうか。

○東京都漁業協同組合連合会 東京都魚連会長の関でございます。

きょうはこのような場を設けていただき、ありがとうございます。

私は昨年7月に漁連会長になりましたが、三宅島漁協の組合長でもあります。また、現役の漁師でもあります。きょうは漁業団体を代表して、来年度予算に対する水産関係の要望をさせていただきます。このような席になれていないものですから、私が話すことを紙に書いてきましたので、それを見ながら要望をさせていただきます。

私どもは、これまで、東京都の御指導、御支援もいただきながら、水産資源の保護や漁業生産を向上させることなど、浜を活性化するために私たち漁業者ができることについて、いろいろと取り組んでまいりました。

しかし、東京の海では、私も長年漁師をやっていますが、ここ10年ぐらい魚が少なくなっていることをひしひしと感じています。三宅島でも、伊豆諸島の特産であるタカベが、以前と比べて1割程度になっています。八丈島の近海でとれるカツオは、10年前は700トンとれていましたが、今は10分の1程度に減っています。

その上、魚価の低迷や燃料は高値の水準が続くなど、漁業は厳しい状況が続いています。私たちも漁業にとってよかれと思うことは積極的に取り組んでまいりましたが、私たちの努力だけではかなわないことも多々あります。

東京の漁業の発展のために、来年度もぜひ御支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、具体的に要望させていただきます。要望書にございますよう、大きく5項目について要望させていただきます。

最初に人材育成対策についてです。

東京の漁業の課題の一つとして後継者の不足があります。島の中ではなり手が少ないので、外から募集をしていますが、一人の漁師を育てるには、多くの時間と手間がかかります。親方のもとで操業や出荷などさまざまな技術、知恵を身につけさせたり、船の操縦免許の資格を取らせるなどして、一人前にしていきます。島の漁業を担う人材を育てるために、経費について引き続き御支援をいただきたいと思います。

次に、燃油価格の軽減措置についてです。

最近、OPECを初め、原産国が減産に踏み切るとの報道がありますが、私どもは漁業用燃油の値上がりを心配しています。島の燃油は、本土と比べて油を運ぶ運搬船の運賃が上乘せられるので、その分、漁業者の負担が大きくなります。平成20年に燃料が高騰したときに、この運搬船の運賃補助を実施していただきました。魚の価格は基本的に競りで決まりますが、燃油等の値上がりもほかの商品と違って価格に転化できないのが厳しいところで

す。来年度以降も引き続き御支援をいただきますよう、よろしくお願いします。

次に、漁業生産基盤の整備についてです。

漁業生産にとって不可欠な製氷や冷蔵施設、また、燃油タンクなどの施設は、これまで都の支援をいただき、整備してきましたが、島嶼漁協のこれからの施設が老朽化などにより、更新の時期に入っていきます。生産基盤の整備についても特段の御配慮をお願いいたします。

次のページにあります、水産加工の流通の改善ですが、各漁協では、低・未利用の魚を使った加工品の開発を進めてきました。中でも、八丈島は生産規模が大きく、都内の学校給食などにも提供していますが、ほかの漁協はまだ島内消費が中心で、経営的に厳しい状況にあります。地元の魚を使った新たな加工品の開発や販路拡大の取り組みなどに、都の御支援をいただければと思います。

最後になりますが、漁業資源の管理についてです。

先ほどお話ししましたが、島嶼の海にも海藻がなくなる磯焼け現象や海流、海水温の変化などにより、魚介類が年々少なくなっています。海の変化による減少はありますが、大型巻き網船による乱獲や違法操業なども原因の一つとしてあると思います。

私どもは、自然保護の観点から、ルールに基づいた操業を行っていますが、都としても、違法操業に対する監視、取り締まりの強化、また、他県との漁業調整、資源状況を適切に把握するために調査の拡充などを引き続き実施していただきたいと思います。

以上、いろいろと要望させていただきましたが、私たちも東京の漁業を発展させるために頑張っていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

まさに現場の声ということで、5点の御要望をいただきましたので、それぞれにつきまして、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 まさしく現場の声をお届けいたしました。まことにありがとうございます。

5点、御要望がございました。まず、人材の育成という、これはずっとこの間、各業界からお話、御要望を伺っておりますが、みんな共通する課題、特に漁業の場合、いろいろ肉体的にも災害といいましょうか、危険を伴う等々、御苦労が多いことかと存じます。そういう中で新しい就業者の獲得ということは、これはすなわち将来にわたって漁業振興にとって重要でございますので、引き続き対応させていただきたいと思います。

燃油価格については、私も冒頭に触れましたように、今、国際情勢が非常に米ロの間でエネルギーの問題で連携をどうしようにするのか、それに中東情勢ということが絡んで、最も注視されるところだと思います。そういった観点で、これまでも燃油については国も、私も国会議員でございましたので、皆様方が鉢巻きですずっと御要望にいられていたのもよく存じ上げております。そういったことから、経営の安定化のためには、どのような措置ができるのか。価格動向を踏まえながら、必要な対応を行っていきたいと考えております。

それから、漁業の生産基盤の整備でございますけれども、生産性の向上、それから、合

理化、これは東京の漁業の発展にも必要でございますので、こちらに必要な対応措置を積極的に行っていきたいと考えております。

それから、水産物の加工・流通の促進でございますが、加工品の開発、そして、販路の開拓というのは、これは非常にプロの世界にも入るし、消費者の嗜好というのも、いろいろなやり廃りがあったりして大変かとは思いますが、ぜひ、東京の漁業の発展の基盤となるかと思っておりますので、しっかりと対応させていただきます。

ちなみに、ここだけの話ですが、今夜どうしても顔を出さなければいけない忘年会がございます、八丈のお魚屋さんに行きますので、くさやをいただくことになるかと思えます。内緒の話と言いながら、これは公開でネットで流れているのですね。まずかったかしら。

5番目、漁業資源の管理に関しての対策でございますけれども、漁協支援の管理は、これも将来にわたって長期間を考えますと非常に重要ということから、しっかりと対応させていただきますと考えております。

これからもぜひ私たち都民に、そして、国民に、さらにインバウンドのお客様に東京のおいしい魚貝、新鮮な魚貝を提供していただきますように、現場で頑張っていただきたいと存じます。

ありがとうございました。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

まだ若干お時間がございますが、代表はわざわざ三宅からお越しになったのですね。せっかくでございますので。

○小池知事 先日、伺いました。

○東京都漁業協同組合連合会 そのとき村長が呼んでくれればよかったのだけれども、村長が呼んでくれなかったのです。

○小池知事 そうなのですか。仲が悪いのですか。

○東京都漁業協同組合連合会 知事に対してこういうことまでしゃべっていいのか知らないけれども、恩師なのです。だから、村長は柔道が強いから、今だったらやれるから村長、やろうかと言うのだけれども、まさか村長に手を上げるわけにはいかない。結構仲はいいですよ。

私も今、若い人を育てて乗っけているのです。相当大変です。うちは40ちょっと過ぎの男を乗っけているのですけれども、本当に大変です。

○小池知事 特に三宅島は例の噴火以降、なかなか定着というか、やはり皆さん、将来を考えて戻ってこられない方も多いと聞いているのですけれども、その中からさらに漁業に引っ張るというのは、大変ですね。

○東京都漁業協同組合連合会 島の人になり手がなくて、うちも東京から今、4人呼んでいるのですけれども、1人はもう独立してやっているのですけれども、ちゃんと水揚げしてもらっています。

○小池知事 この間伺ったときに、そういう全く漁業に関係のなかった分野から若者が参加するようになったと。

○東京都漁業協同組合連合会 東大生もいます。

○小池知事 東大の漁師。おもしろい。

○東京都漁業協同組合連合会 大体、大学をみんな出ているのです。大学を出て、頭はいいのだけれども、違う職種だから、私はいつも怒っていますけれども、大変です。

だから、来年、多分船を持たせると思います。おまえが生活できるかどうか知らないけれども、潰れたら潰れたでしようがないけれども、やれと。船も見つかったのですけれども、もう少しで2人目ができ上がると思います。

○小池知事 東大の何学部出身なのですか。聞いていないですか。

○東京都漁業協同組合連合会 そこまではちょっとわからないですけれども、うちの若い人は東大ではないのですけれども、違う船に東大の学生が。

○小池知事 トウダイはあの灯台ではないですね。

○東京都漁業協同組合連合会 赤門のある東京大学です。そこを卒業して、頭がいいですね。

○小池知事 ぜひ、お魚天国の日本ですので、皆さん、現場で頑張っていたかかないといけませんし、東京のお魚というところが一番ポイントになると思いますので、ぜひ頑張っていたきたいし、東京都として応援させていただきたいと思います。

ありがとうございました。

○司会（武市財務局長） どうもありがとうございました。

それでは、これもちまして、終了とさせていただきます。

本日は本当に遠いところを、どうもありがとうございました。